



掖濟(えきさい)の心で、社会に貢献  
「掖濟」は、腋に手を添えて助けるの意味。

小樽掖濟会病院広報誌

# かなる Canal

vol.21  
2024  
January

Canalは英語で運河という意味



小樽掖濟会病院の屋上にて

## 小樽掖濟会病院の基本理念

### 優しさと責任

患者さんに優しく接し  
責任を持って診療に当たります

## ◆ 目次

- 2・3 病院長のひとり言 ～新年のあいさつ～
- 4 認知症看護認定看護師の研修を修了しました
- 5 作業療法士 新人紹介/理学療法士と作業療法士の違いについて
- 6・7 BLS研修を開催しました/消防訓練を実施しました
- 裏表紙 Topics 紹介受診重点医療機関について

TAKE FREE(無料) ご自由にお持ちください。



# 迎春



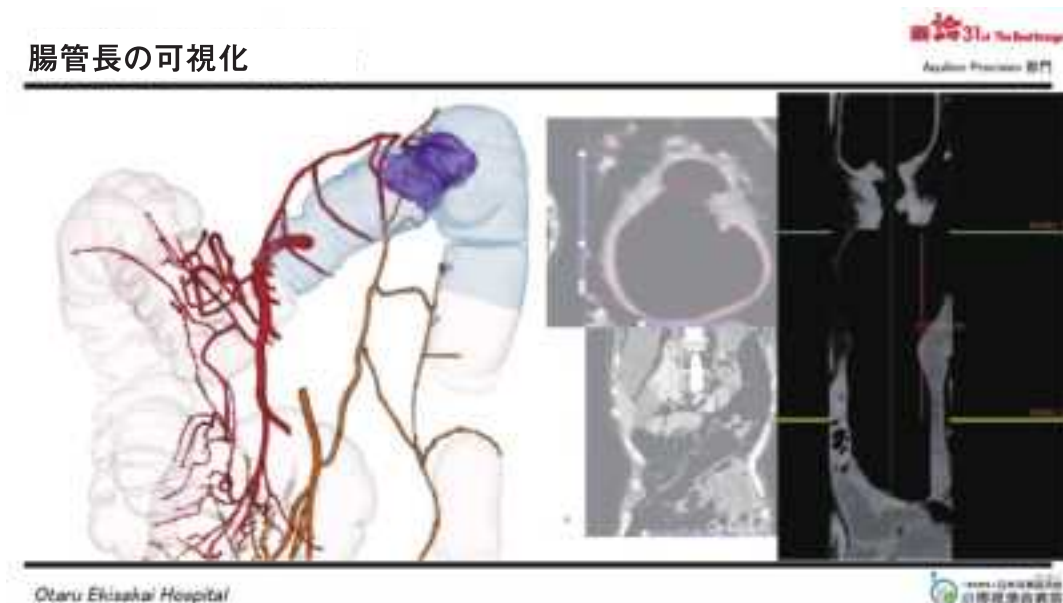
公益社団法人日本海員掖済会  
小樽掖済会病院 病院長 向谷充宏

皆様、あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、心新たな決意と希望を抱きながら、改めて皆様と共に歩む喜びに満ちた一年となりますことを心より願っております。小樽掖済会病院では、より一層の医療の質の向上に向けて努力を続け、小樽・後志地域の皆様に信頼される医療機関としての存在感を高めることを使命としております。

昨年末には病院機能評価において一般病院2<3rdG Ver3.0>での合格を果たしました。これは、我々が日々の医療サービスにおいて患者さんに安心と信頼を提供するために共に努力してきた結果であります。

また、CANON Medical Systemsが主催する「画論 The Best Image」は、診断・治療に有用な画像のクオリティ、被験者へのメリット、テクニックの創意工夫など、クリニカルバリューを総合的に判断し「画像診断技術の発展と医療への貢献に役立つ画像」として多くの施設で共有する試みが、全国多数の施設から応募されましたが、北海道から唯一上位入賞画像に選ばれたのは小樽掖済会病院のCT画像であり12/17の最終審査でのプレゼンテーションと、厳正なる最終審査によって高い評価を受けることができました。この詳細については別の機会にご紹介させていただきます。

## 腸管長の可視化





当院として、引き続き、患者様の健康と幸福を最優先に考え、医療の質の向上に向けて精進し、ますます進化し続ける医療環境で、信頼と安心を提供し続けることを、病弱な院長に代わりまして私「凜院長」がご挨拶申し上げます。

新年を迎えるにあたり、患者さんやご家族、地域の皆様とともに歩んできた一年に心から感謝申し上げます。皆様との出会いや支えがなければ、私たちの成果もあり得ませんでした。これからも、地域社会と共に築いていく医療の架け橋でありたいと考えています。

新年は新たな可能性が広がる一方で、未知の課題にも出会うことがあります。しかし、その挑戦を乗り越えるためには、結束し、協力し合うことが不可欠です。小樽掖済会病院は、引き続き地域社会とのパートナーシップを深め、共に歩む中で生まれる知恵や力を信じ、一步一步前進していく覚悟です。

また、2024年は陰陽五行説によると「甲辰」に相当し、「甲」は草木の成長を表し、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。そのため2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるとのことです。また、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける活気のある年になるとされているようです。

さてさて、我が家の「凜」ですが、皆さまに新年のご挨拶をなさい。

「院長の代わりに挨拶したけど？あらためて？あけまして、めでとうニャン」

「新年最後に飛びきり可愛い顔してごらん」

「こんな感じかニャン」

「うっ、あざとかわいい」

このような楽しい雰囲気でも、新年をお迎えいただければ幸いです。皆様の一年が笑顔に満ち、良い出会いと幸福に満ちたものとなりますように心よりお祈りしております。





# 認知症看護認定看護師の 研修を修了しました!

認知症看護認定看護師研修では、認知症の発症から終末期に至るまで、一人一人の認知症の人の生命・生活の営みを支える能力、看護職に対する指導・相談を行う能力、多職種と協働してケアを提供できる能力を養成し、認知症の人および認知症の人にとっての環境を深く理解するために、認知症の病態・治療、認知症に関する社会動向や倫理的課題、コミュニケーションスキル等を学びます。



6階病棟 看護師 岡森美江

北海道医療大学の認定看護師研修センターにて、5月から12月の7か月間、認知症看護を学んできました。

研修では認知症の病態やコミュニケーション技術、薬理学、そして認定看護師としての実践・相談・指導など専門的知識・技術を学び、手稲深仁会病院での実践実習も行いました。

認知症がある方のもてる力に着目し、認知症になってもその人らしく生活を継続するための生活者としての視点や、支援の在り方を学ぶことが出来ました。

研修には道外の医療機関から来ている研修生も多く、沢山の仲間と助け合い刺激のある7か月間を過ごすことが出来ました。1時間しか寝られなかった実践実習や深夜まで及ぶ仲間との議論も、今では良き思い出です。

小樽市の高齢化率(65歳以上の人口割合)は41.7%と道内179市町村の中でも55番目に高齢化が進んでいます。当院の入院患者の約40%は75歳以上の後期高齢者で、そのうち90%以上が認知症若しくは認知症の疑いがある方です。急性期病院である当院では、入院による環境変化や手術・検査による侵襲からせん妄を発症する方も少なくありません。地域に住む高齢者や認知症者が安定した状態で身体疾患の治療を受けられるように、学んだ知識や技術を今後の活動に活かしていくことが現在の課題です。今後は来年10月に控えている認定審査の合格を目標に臨床での経験を活かしながら勉学に励む所存です。

認定審査の合格を目標に臨床での経験を活かしながら勉学に励む所存です。



認定看護師研修センターでの修了式



認知症看護研修の様子

# 作業療法士 新人紹介

## 作業療法士 齊藤 広大

皆さんこんにちは。令和5年8月に入職した作業療法士の齊藤です。今までは岩見沢という所に住んでいました。小樽に住むのは初めてになります。小樽掖済会病院に入職しませんでしたことは職員の方々とても優しいということです。患者様にだけでなく職員に対しても思いやりや気遣いがあり、改めて相手を思いやるということは大事なことだと思いました。作業療法士という業務に関してはまだまだ勉強と経験を積むことが必要な状況ですが、入職してすぐががんのリハビリテーション研修を受けることができ非常にありがたい環境だと思っております。組織の一員として、健康を維持し頑張っていきたいと思っております。



## 作業療法士 利波 奈々

令和5年9月に入職しました作業療法士6年目の利波奈々です。7月まで札幌の病院で働いており主に整形の患者さんに対するリハビリテーションを行ってきました。まだまだ経験は浅いですが、患者さんにとってより良い医療を提供出来るように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

# 理学療法士と作業療法士の違いについて

## ～理学療法士(Physical Therapist, PT)～

ベッドからの起き上がりや、座位、立ち上がり、歩行などフィジカル面を重視した動作能力の回復・維持を目的にリハビリを行います。

## ～作業療法士(Occupational Therapist, OT)～

整容、食事、書字、更衣など応用的動作能力の維持・改善を目的とし、その人らしい生活を送れるようにリハビリを行います。また、外科領域では手や指のリハビリを専門とする分野もあり、スプリントという装具を作成しリハビリを行うのが特徴です。

双方の行うプログラムの内容が明確に分かれていない場合もあります。作業療法士、理学療法士の枠に捉われず、対象者に何が必要かということを中心に考えてリハビリを実施していきたいと思います。

# 全職員対象のBLS (BasicLifeSupport)

## BLSとは・・・

Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。BLSが必要な場面に遭遇したとき、知識があっても恐怖心からためらいを感じて、実践することが困難になるかもしれません。必要な時にしっかりと実践できるよう、実技を中心としたトレーニングを繰り返し行うことで、必要な技術を身体で覚えることが大切です。



今回、当院では、心停止の早期判断、応援要請コール、適切な胸骨圧迫（心臓マッサージ）、AEDの使用方法等についての研修を行いました。研修には、新人看護師をはじめ、医師、薬剤師、事務職員、放射線技師など186名の参加があり、参加率80%でした。



事前に、各自、WEB動画を視聴し、テストを実施してからの参加を義務付けました。当日は、実際に倒れている人を発見したところから、心肺停止の早期判断、応援要



請コール、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、バックバルブマスクによる換気、AED操作等を4人1組で行いました。医師、看護師、薬剤師、事務職員など多職種間で連携を取りながら、シミュレーションを行いました。



## 研修を開催しました。

参加者からは、「どのような状況や立場であっても積極的に行動し、協力するイメージを掴むことができた。」「このような場面に遭遇しても集まってきた人たちと声を掛け合いながら対応する自信がついた。」などの感想があり、有意義な研修になったと思います。

今後も、地域の皆様が安心して病院をご利用いただけるよう、職員の医療技術の向上に努めていきたいと思っております。



## 消防・避難訓練を実施しました



当院では消防法により、延べ床面積、収容人数から消防マニュアルの作成、年二回の訓練が義務付けられています。消防法の規定に基づいて、昨年11月9日に消防訓練を実施致しました。

入院患者さんがいる病棟での出火を想定し、消火栓の使用、消防署への通報、患者さんの避難・誘導等を行いました。訓練の最後には訓練用の消火器を用い、屋外で消火の練習を行いました。

災害はいつ起こるかわかりません。あってはならない事ですが、災害時には適切な救護活動ができるように、今後も災害に備えて準備や対策を行って参ります。



## Topics

# 『紹介受診重点医療機関』として公表されました!

昨年8月1日に、「紹介受診重点医療機関」として公表されました。小樽・後志圏域では当院のみです。「紹介受診重点医療機関」とは、「かかりつけ医」からの紹介状を持って受診をしていただき、より専門的な検査や治療を重点的に行う医療機関です。『かかりつけ医』と『紹介受診重点医療機関』の役割分担により、よりスムーズに受けられることが期待されます。

## 小樽掖済会病院 認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設

## 施設概要

開設年月日 昭和19年4月1日

管理者 向谷 充宏

病床数 138床

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階

駐車場 敷地内駐車場48台（福祉車両専用含む）

## アクセス

所在地 〒047-0032  
北海道小樽市稲穂1丁目4番1号

TEL 0134-24-0325

FAX 0134-24-0326

交通機関 JR小樽駅より徒歩5分  
中央バス各線バス停まで徒歩3分

## 診療科科目

- ・内科
- ・消化器内科
- ・胃腸内科
- ・肝臓内科
- ・外科
- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・肛門外科
- ・麻酔科
- ・整形外科(休診中)

★札幌よりJR利用快速列車約30分でJR小樽駅着



日本医療機能評価機構  
認定第 JC2292 号

